

第4回長島町立小中学校等統合再編推進委員会 議事録

日 時：令和6年1月17日 午後6時00分～午後7時47分

場 所：長島町役場指江支所 2階大ホール

参 加 者：長島町立小中学校等統合再編推進委員会（3名欠席）

町 長 部 局：総務課長、総務課長補佐

委 託 業 者：公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センター2名

教育委員会：教育長、教育総務課長、学校教育課長、社会教育課係長2名、教育総務課3名

教育総務課長補佐： これより第4回長島町立小中学校等統合再編推進委員会を開催する。
開催にあたり委員長、教育長が挨拶をする。

委員長： 中学校の統合再編は1番の重要案件であるため、この委員会で忌憚のない意見をだしてもらい、学校統合がスムーズに進められるよう協力してほしい。

教育長： 中学校の統合再編は大きな課題である。今回はハード面の基本構想案を承認いただいた。

本日も住宅センターから基本計画案の説明をしていただく。前回の委員会での意見や要望に対する返答も今回あるのではないかと思う。

今日は、基本計画案に対しての忌憚のない意見をお願いしたい。

教育総務課長補佐： それでは議事に入る。

委員長： 長島町立中学校再編に伴う基本計画案の説明を求める。

～ 総務課、公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センターより説明 ～

委員長： 今の説明を受けて、質問・意見はないか。

委員： 新中学校の経費について、莫大な額のためイメージしにくい。

具体的な例として現在建設中の総合グラウンドや鷹巣診療所、東分遣所等の公共施設はどのくらいコストがかかったか教えて欲しい。

教育総務課長： 現在建設中の総合グラウンドは、工事期間が延びている。社会教育課からの資料によると平成25年～令和5年度末の見込みが12億9700万円ほどの事業支出、今後も16億円程度かかる予定。

鷹巣診療所が10億4400万円、東分遣所が5億3600万円の総事業費。この金額は広報で公表されている額である。

委員： 実際ある施設の事業費だと見当がつきやすい。

委員長： 新中学校は鷹巣中だと町負担は約4億円、旧長島高校跡だと約13億円と説明があった。

また、学校の統合再編の積立金は現在10億円あり、鷹巣中だと5億円ほど余裕があるが、旧長島高校跡地だと3億円が町負担となる。

説明があった公共施設の経費も参考にしてほしい。

委員： 33ページ事業スケジュールを見ると、鷹巣中学校は3年目に開校となっているが、4年目以降も管理棟や教室棟の改修、武道館やプールの改築が計画されている。

説明を聞くと、開校されてからでも長期休みで集中的に工事ができるとあったが、休業期間だけで終わる工事なのか。

住宅センター： 改修工事については、外壁と一部の内部改修を予定しており、設計にもよるが長期休業で十分対応できる。過去の同じような大規模改修の事例を考えても完了するのではないかと思う。

一方で武道館やプールは、一からの新築工事のため、長期休業で完了することは難しい。子どもたちが学校に通う間、横で工事となるため、子どもたちには不便をかけることになる。

委員長： 今の説明のとおり鷹巣中学校に関しては、子どもたちがいても改修工事、増築等十分対応できるとのことなので、今後の参考にしてほしい。

委員： 鷹巣中学校に関連した質問が3つある。

仮に鷹巣中学校が新中学校となった場合、買収予定の用地に関しては、買収見込みがあるのか。ここが買収できなければ、鷹巣中は計画が進まないと思う。

11ページ鷹巣中学校改修計画（案）の敷地活用計画（案）を見ると、スクールバスの出入口近くのB'周辺がカーブになっていて、横断歩道も近くにあるため見通しが悪く危ない。横断歩道の場所を変更することは可能か。

プールが城山跡地に設置予定と書いてある。今がどのような状態かわからないが、自分が通っていた時は墓石もあり、鷹巣中の校歌にも入っていて歴史もある。プールの設置場所は検討すべきではないか。

総務課長補佐： 鷹巣中学校になった際の用地確保については、所有者に中学校の再編場所が鷹巣中と旧長島高校2つ候補としてあることを説明し、説明資料に買収予定地としての掲載をしても良いという承諾はいただいている。

横断歩道については今後協議を進める。

プールの設置場所については、2つの意見が出ている。

1つ目は体育館が暗いため、上を切り開いてプールを設置することで明るくなるのではないかという意見と、2つ目が城山跡地のため、この場所に設置は難しいのではないかという意見である。

敷地活用計画（案）は鷹巣中学校にプールを入れられるかどうかを検証するためのもので決してこの場所で決まりということではない。

また、総務課と住宅センターで協議をしたところ、城山は高台のため、ここを活用すると切土の工事が必要となるが、切土工事と別場所にプールを設置する工事の費用はあまり変わらないと住宅センターから助言があった。

住民説明会等での意見も聞きながら検討していきたい。

委員： 旧長島高校の解体費用が6億5千万円ほどと説明があったが、事務レベルで県から県費での解体はしないと回答があったと聞いたが、知事判断まで行っていないとなると、まだ交渉の余地はあるのではないか。長島高校は県立高校であるため県が解体するのが当然だと思う。

また資料では、建設費用として鷹巣中は既存の建物を改修、増設のため安い、旧長島高校は1度解体して新設しなければいけないため高いと記載されているが、そもそも新築の校舎と20年～40年たっている校舎では値打ちが違う。新品と中古では同じ価値ではないことを留意すべき。

旧長島高校に学校を新設すると、総事業費が約40億円、町の負担は13億円程が町の財政負担となる。この工事を町内の建設業者が請け負えば、町の建設業界が潤い経済効果もあがる。

総合グラウンドはすでに12億9700万円投入して、さらにあと約16億円、合計29億円程の事業や、東分遣所に5億、診療所に10億の費用をかけるのに、子どもたちや長島町の50年100年の体系を考えたときに、新しい中学校の新設に40億円、町負担13億円が耐えきれないほどの額なのか考えるべき。安いから高いからなど金額だけをみて判断すべきではない。

旧長島高校のグラウンドは、400mトラックが入るほどの広さがあり、野球部とサッカー部が同時に活動できるほど十分な大きさがある。また、長島高校のグラウンドは水はけも良く、雨が上がればすぐに活動できる素晴らしい運動場がある。

旧東町と旧長島町が合併するときも、町長や議会は両町が融和を図るために努力していた。しかし、新中学校が鷹巣中に統合すると、鷹巣中校区の住民は大喜びだが、川床中、平尾中、長島中校区の住民は母校を失うことになる。子どもたちが融和な雰囲気の中、新しい学校でスタートを切ってほしい。子どもたちがワクワクするような学校をつくるべき。

委員： 33ページ鷹巣中学校の事業スケジュールを見ると、開校が3年度目、その後改築工事と説明があった。7ページ住民アンケートの結果を見ると、部活動を重視している

意見が多いことや、保護者も応援したい気持ちがあることがわかる。

開校してからも長期休暇期間内で工事ができると説明があったが、授業には支障はないかもしれないが、部活動は夏休みも冬休みも行うため影響するのではないか。

プールを設置する際に切土をする話もあったが、そうなると重機が入り一定期間グラウンドが使用できなくなるのではないか、懸念事項である。

委員： スクールバスについて、前回の説明の中で鷹巢中、長島高校どちらになっても8路線必要とのことだったが現時点で変更はあるか。

教育総務課長補佐： 現時点の人数で計算したところ、両校8路線必要に変わらない。
今後、町のバス運行計画によっては、公共交通機関の利用が可能なら変わる可能性もある。

委員長： これから各地域に出向いて住民説明会を行う予定である。今回の説明、資料を基礎として説明会を開いてよいか。

委員： 住民説明会はこの資料だけで説明する予定なのか。

委員： この資料で鷹巢中学校と旧長島高校のどちらがよいか住民が判断するのは難しいのではないか。前は十分に研究をして説明会に臨んでいたと思う。どちらがいいかとなれば、自分の地域の方がいいとその程度の意見になる。
この委員会で1つ回答を出し、統合推進委員会ではこのような結論になったがどうかと聞くようにしないと住民は資料だけ見ても理解しがたいのではないか。

総務課長補佐： 総合教育会議の中でも、住民説明会をどの段階で行うか議論になった。
住民の意見を聞いて欲しいという声と、決まってから説明すべきではないかという声のどちらも出ている。
総合教育会議において、まずは現状を住民に説明をして理解していただいたのちに結論をだして、もう1度結果を説明する形をとることにした。
住民の意見をもう1度聞いて、総合判断をしていきたい。

委員： 今日の委員会での意見も住民説明会で公表した方がいいのではないか。

総務課長補佐： 教育委員会と協議する。

委員： 現在旧長島高校は、鶴翔高校が管理しているため、県の管理下にある。旧長島高校に新中学校が決まった際には、教育委員会と私たち推進委員会で県に陳情に行く行動はとれないのか。

総務課長補佐： 長島高校跡地の利活用については、町長、教育長そろって県学校施設へ書面を持ってお願いにいった。後日県知事より書面にて長島高校跡地の土地を無償譲渡はできるが、旧校舎を県で解体費用を支出する予定はないと回答があった。

委員： これからの流れは1ページ基本計画策定までの経緯通りで大丈夫か。

総務課長補佐： その通りである。

委員： 前回長島町のあり方検討委員会の資料では、平成19年に長島町立小中学校等の規模・配置の在り方検討委員会が発足され、旧長島高校跡地に1校と結論がでて、議会に上程したが、否決となるまでに7年かかっている。

今、このおおざっぱな話を住民に説明して正論が出るとは思えない。結論を早く出したいならば今からパブリックコメントを募集するのは遅い。

この会でしっかりと答申をだしてから、住民には説明ではなく説得をしていかなければ、結論が出るまでに何年かかるのかわからない。

委員： 住民説明会はどのように開催するのか。一方的に説明されても意見しにくいと思うので、やり方を考えるべきではないか。

総務課長補佐： 今月末から行われる住民説明会では、住民に現状を説明し意見をもらい、その後結論とともに再度説明会を開く予定である。

委員長： 子ども中心に考えて何が1番大事なのか住民に理解してもらうことが大事である。

委員： この説明会では経済のことばかりでそもそも論がなっていないのではないかと。長島町でどのような教育ができるのかをもっと説明してほしい。

委員： 1月末の住民説明会で意見を出せる人はいいが、中には意見があっても会場で言えない人もいる。住民から広く意見を聞くためにも、説明会後にアンケートを取ることはできないのだろうか。

総務課長補佐： その場で発言できない方の意見も吸い上げるよう考えたい。

委員長： その他意見がなければ以上で議事を終了する。

教育総務課長補佐： その他特になければ以上で閉会する。